

## ■パブリックコメントでの意見及び本市の考え方

令和6年3月1日から4月1日までの間、パブリックコメントを実施し、2名の方から意見書の提出がありました。

パブリックコメントで寄せられた意見とそれに対する本市の考え方は次の通りです。

### 東大阪市都市計画道路見直し基本方針(案)におけるパブリックコメントで寄せられた意見とそれに対する本市の考え方

意見NO.	頁数	意見の概要	本市の考え方	修正有無
1		<p>必要でない道路の廃止もいいが、近年、古い家が立ち並んでいた土地がマンション業者当に買収され高層マンション及び住宅の建設ラッシュが進んでいる状況で、全体的な人口の減少とは逆に宅地化が推し進められている状況で、この現状では土地の面積当たりの人口密度が高くなり、道路の拡幅等より、宅地化が先に進む状況では、現状道路における渋滞の悪化が懸念されます。道路の拡幅等においては立ち退きの件があるので、今以上の宅地化が進む前に早急な道路の拡幅工事が必要だと思います。すでに産業道路においては布施から花園の区間においては未拡幅状態により慢性的な渋滞が発生しているので早急な拡幅が必要です。まとめとしては、このまま放置すると、細い入り組んだ道のままでマンション等が乱立し、道路使用においての問題が発生するのは明らかですので、これ以上の宅地化の前に早急な拡幅等を推し進めていただきたい。</p>	<p>本方針(案)は、都市計画道路を見直すことで、本市の将来像に整合した都市計画道路を維持することができ、また、必要性の低い都市計画道路を廃止することにより不要な建築制限がなくなり、土地の流通性が高まり経済活動の活性化等を期待できることから、見直しの基本的な考え方を示したものです。</p> <p>本市の都市計画道路は計画決定延長120.25kmの内、31.5kmが未着手となっており、ネットワークの形成が不十分で、渋滞の発生や、生活道路への車の流入等の問題が発生しています。これらの問題を踏まえ、本市の将来に真に必要な道路を明らかにし、ネットワーク形成を優先した幹線街路の整備を進め、道路ネットワークの機能強化およびミッシングリンクの解消をめざしています。</p>	無
2		<p>2029年のモノレール鴻池新田駅～瓜生堂駅の開業に向けて、JR鴻池新田駅とモノレール鴻池新田駅の乗り継ぎを見越した道路の整備を進めてほしい。</p> <p>J R 鴻池新田駅のプラットホームを現在の位置より、許せる限り中環側に寄せ、現在ある改札口を東改札口にし、新たに西改札口を作り、モノレール鴻池新田に行きやすくする。</p> <p>そう思った理由：隣接する大阪市内（鶴見区）は活気づいており、東大阪もかつてほどではないが布施あたりは栄えている。しかし中環の東側は近鉄沿線を除いて活気づいていとは言えない。これから高齢化が進み、4人に1人が高齢者ともいわれている東大阪では、若い世代の人口流入が必須であると考えます。鴻池新田は、新マンションの建設やモノレール駅ができることが決まっており、北新地にも一本で行ける立地である。大阪市内にも隣接したこの地域を玄関口として、人の流れを変えられるきっかけになるのではないかと考えた。</p>	<p>本方針(案)は、都市計画道路を見直すことで、本市の将来像に整合した都市計画道路を維持することができ、また、必要性の低い都市計画道路を廃止することにより不要な建築制限がなくなり、土地の流通性が高まり経済活動の活性化等を期待できることから、見直しの基本的な考え方を示したものです。</p> <p>頂いたご意見は、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p>	無